

就学援助受給申請書【新規・継続】

令和 年 月 日

山元町教育委員会 殿

次の理由により就学援助の支給を受けたいので、必要に応じ私の世帯全員の住民基本台帳の情報、生活保護・児童扶養手当の受給状況及び町民税賦課状況を、教育委員会が照会することについて同意し、申請します。

なお、支給に当たっては、就学援助の対象となる学校納付金等に未納がある場合は、当該額を学校長が受領することに承諾します。

保護者 住所 山元町
氏名
電話 ()

- 1 申請年度 (令和7年度修学分)

- ## 2 申請理由

援助を受けたい理由	下記 1 ～ 9 に該当する場合番号を○で囲み、証明書等又はその写しを添付してください。
	1 生活保護法に規定する要保護者 2 生活保護の停止又は廃止(年 月 日) 3 町民税が非課税又は減免 (→減免通知書の写し、源泉徴収票) 4 国民年金保険料の免除又は納付猶予 (→免除通知書等の写し、源泉徴収票) 5 国民健康保険税の徴収の猶予又は減免 (→猶予通知書等の写し、源泉徴収票) 6 児童扶養手当の受給 (→児童扶養手当証書の写し、源泉徴収票) 7 生活安定資金の貸付 8 雇止め等、就労環境の変化により当年収入が著しく減少する見込み (→給与明細等収入が減少する見込みの確認できる書類の写し) 9 その他(家庭状況の変化や罹災した等)(→罹災証明書等、源泉徴収票) (上記 9 を選択した場合は、下記に具体的な申請理由を記入してください。)

- 3 受給申請児童生徒名 (在籍 (就学予定) 学校名 山元町立)

	児童生徒氏名	性別	学年		児童生徒氏名	性別	学年
1				3			
2				4			

※ 兄弟姉妹で異なる学校に在籍(就学)する場合はそれぞれに申請書を提出してください。

4 世帯の状況（3に記入した対象児童生徒以外の世帯全員を記入してください。）

氏名	続柄	性別	生年月日（年齢）	就労先 又は学校名
	世帯主		年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	

- (1) 収入（恩給・年金・失業保険その他公の給付も含まれます。）のある方については、**前年分の源泉徴収票等の写し、確定申告書の写し及び恩給等の支給が確認できるものの写し**を添付してください。
- (2) 申請日現在の状況を正確に記入してください。
- (3) 山元町児童生徒就学援助実施要綱第11条により、虚偽の申請等があった場合は支給した就学援助費を返還していただきます。

◆以下の欄については記入しないでください。

〔民生委員児童委員の所見〕

世帯についての状況を記入願います。

年 月 日

区 民生委員児童委員 氏名 印 電話
(—)

〔学校長の意見〕

- 1 保護者の職業が不安定で生活状態が悪いと認められる。
- 2 経済的な理由による欠席日数が多い。
- 3 学校納付金の納付状況が悪い。または、減免が行われている。
- 4 東日本大震災の影響により、生活が不安定である。
- 5 その他

()

上記の者は就学援助を必要とする児童生徒として報告します。

年 月 日

山元町立

校長

印

〔教育長の認定〕

以上の理由により就学援助は（必要・不要）と判断する。

年 月 日

山元町教育委員会

教育長

印

記入例

様式第1号（第5条関係）

就学援助受給申請書【新規・継続】

昨年度まで受給していない場合「新規」に○を、
受給していた場合「継続」に○

令和7年4月1日

山元町教育委員会 殿

次の理由により就学援助の支給を受けたいので、必要に応じ私の世帯全員の住民基本台帳の情報、生活保護・児童扶養手当の受給状況及び町民税賦課状況を、教育委員会が照会することについて同意し、申請します。

なお、支給に当たっては、就学援助の対象となる学校納付金等に未納がある場合は、当該額を学校長が受領することに承諾します。

保護者 住所 山元町 ○○字○○ △△番地△
氏名 山元 太郎
電話 ○○○-△△△△-□□□□

電話番号は平日の日中繋がる番号

1 申請年度 （令和7年度修学分）

2 申請理由

1～9で該当する項目に○を付けてください。
9 その他については、具体的な申請理由を記入願います。

援助を受けたい理由

下記1～9に該当する場合番号を○で囲み、証明書等又はその写しを添付してください。

- 生活保護法に規定する要保護者
- 生活保護の停止又は廃止（ 年 月 日）
- 町民税が非課税又は減免（→減免通知書の写し、源泉徴収票）
- 国民年金保険料の免除又は納付猶予（→免除通知書等の写し、源泉徴収票）
- 国民健康保険税の徴収の猶予又は減免（→猶予通知書等の写し、源泉徴収票）
- 児童扶養手当の受給（→児童扶養手当証書の写し、源泉徴収票）
- 生活安定資金の貸付
- 雇止め等、就労環境の変化により当年収入が著しく減少する見込み（→給与明細等収入が減少する見込みの確認できる書類の写し）
- 9 その他（家庭状況の変化や罹災した等）（→罹災証明書等、源泉徴収票）
（上記9を選択した場合は、下記に具体的な申請理由を記入してください。）
（例） 昨年より収入が減少し、家族人数も多く、経済的に大変であるため。

3 受給申請児童生徒名（在籍（就学予定）学校名 山元町立 ○○小学校 ）

	児童生徒氏名	性別	学年		児童生徒氏名	性別	学年
1	山元 元気	男	4年生				
2	山元 心	女	1年生	4			

令和7年4月からの学年を記入してください。

※ 兄弟姉妹で異なる学校に在籍（就学）する場合はそれぞれに申請書を提出してください。

4 世帯の状況（3に記入した対象児童生徒以外の世帯全員を記入してください。）

氏名	続柄	性別	生年月日（年齢）	就労先 又は学校名
山元 太郎	世帯主	男	昭和〇〇年〇月〇日（△△歳）	（有）〇〇
山元 光	妻	女	昭和〇〇年〇月〇日（△△歳）	無職
山元 次郎	子	男	平成〇〇年〇月〇日（△△歳）	山元中学校
山元 力	父	男	昭和〇〇年〇月〇日（△△歳）	無職・年金受給
山元 花	母	女	昭和〇〇年〇月〇日（△△歳）	無職・年金受給

- (1) 収入（恩給・年金・失業保険その他公の給付も含まれます。）のある方については、**前年分の源泉徴収票等の写し、確定申告書の写し及び恩給等の支給が確認できるものの写し**を添付してください。
- (2) 申請日現在の状況を正確に記入してください。
- (3) 山元町児童生徒就学援助実施要綱第11条により、虚偽の申請等があった場合は支給した就学援助費を返還していただきます。

◆以下の欄については記入しないでください。

〔民生委員児童委員の所見〕

世帯についての状況を記入願います。

年 月 日

区 民生委員児童委員 氏名 印 電話
()

〔学校長の意見〕

- 1 保護者の職業が不安定で生活状態が悪いと認められる。
- 2 経済的な理由による欠席日数が多い。
- 3 学校納付金の納付状況が悪い。または、減免が行われている。
- 4 東日本大震災の影響により、生活が不安定である。
- 5 その他

()

上記の者は就学援助を必要とする児童生徒として報告します。

年 月 日

山元町立

校長

印

〔教育長の認定〕

以上の理由により就学援助は（必要・不要）と判断する。

年 月 日

山元町教育委員会

教育長

印

銀行等口座振込依頼書
兼学校長からの現金受領同意書・委任状

私が山元町から受領する就学援助費について、下記口座への振り込みを依頼します。

ただし、私が納めるべき校納金等に未納があり学校長から現金支給の申し出がある場合は、当該援助費を学校長の口座に振り込みいただき、学校長から現金で受領することに同意します。

なお、その際の山元町からの就学援助費の受領については、学校長に委任します。

山元町長 あて

学 校 長 あて

令和 年 月 日

保護者 住 所 _____

(申請者)氏 名 _____

電話番号 _____

受給対象児童生徒

学 校 名	児童・生徒氏名	学 年

記

振込先金融機関	銀 行・農 協 信用金庫・信用組合												
本店・支店名	本 店 ・ [] 支 店												
口 座 番 号									預金種別	普通・当座 その他()			
フリガナ													
(保護者名)口座名義													

※ 依頼書に「通帳のコピー」を添付願います。(通帳写し貼り付け台紙に貼ること。)

※ 振込先口座名義は、保護者名(申請者)と一致すること。

※ 間違いにより訂正する場合は、二重線を引き訂正印を押印ください。

通帳写し貼り付け台紙

枠内に通帳の写しをのりで貼り付けて提出してください。

貼り付け欄

必要な情報

- ・金融機関名
- ・支店名
- ・預金種類
- ・口座番号
- ・名義人（カナ）

通帳を開いた
1・2ページ目

総合口座		
おなまえ ヤマモト タロウ サマ		
		種 別：普通預金
		口座番号：□□□□□□□□
〇〇〇銀行 〇〇支店		
----	----	----
----	----	----
----	----	----
金融機関コード △△△△ 支店名コード △△△		
口座名義（カナ） 山元 太郎（ヤマモト タロウ）		